

沿革

- 昭和41年4月1日 農業試験場・蚕業試験場・高城種畜場及び果樹指導所を統合して、『農業技術センター』設置
企画調査室・管理部・経営部・作物部・園芸部・化学部・植物防疫部（以上宇佐）、
管理部・畑作部（以上三重）、畜産部・蚕業部（以上大分）、久住試験地
- 昭和44年4月1日 久住試験地を久住水稲試験地に名称変更
- 昭和58年5月1日 久住水稲試験地を久住試験地に名称変更
- 昭和61年4月1日 バイオテクノロジー研究室新設
- 平成4年4月1日 バイオテクノロジー研究室、経営部、作物部、畑作部を企画情報部、生物工学部、農村計画部、
水田利用部、畑地利用部に改組
- 平成12年4月1日 茶業特産部杵築試験地を廃止し、七島いに関する業務は水田利用部に移管
- 平成17年4月1日 農業、林業、水産業の各試験研究機関を統合して、『農林水産研究センター』設置
水田利用部、生物工学部、企画情報部を、水田農業研究所に改組
- 平成22年4月1日 農林水産研究センターを農林水産研究指導センターに再編
耕種部門（安全農業研究所、水田農業研究所、野菜・茶業研究所、果樹研究所、
花き研究所）を農業研究部に統合、遠隔地の研究所についてはグループを配置
水田農業研究所を水稲、麦、大豆の試験研究に特化し、水田農業グループに改組